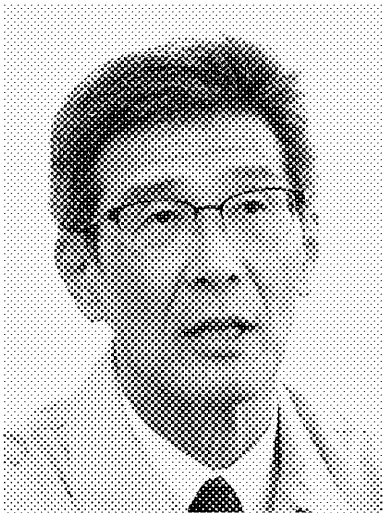
新社長

New president

サンコール

奈良（なら） 正（ただし） 氏



日米でバスバー生産5倍

《トヨタ自動車出身。自動車のエンジン開発に従事してきた》

「米国や欧州、タイなどに駐在し、いろいろな経験をした。どの地域、どんな仕事でも、うまくいった時は共通して明るく、楽しく、元気に仕事をしていた。仕事はチームで取り組むことが多い。チームの雰囲気を良くするそれらが、成功を引き寄せる。現在、一部事業が市況悪化で停滞するなど、当社には少し閉塞（へいそく）感が漂っている。それを打ち破るためにも明るく、挑戦を楽しみ、元気良く過ごすよう社員に伝えている」

《バスバーや電流センサーなどの配電部品が成長の柱。電動車シフトは商機となる》

「当社のバスバーは形状のカスタマイズが強みで、ガソリン車や電気自動車（EV）、ハイブリッド車（HV）などのモビリティーに加え、エネルギー分野などでも採用が決まった。2027年3月期までに日米合わせた生産能力を現状比5倍に増やす。電流センサーも電動車の普及拡大で需要が伸びつつある。京都府内の工場に加え、山梨の子会社などでも増産体制を整備する」

《光ファイバー向け部品にも注力。データセンター需要などが後押しとなる》

「光ファイバー用コネクターは攻めの姿勢で臨んでいる。直近も急な案件が舞い込み、中国拠点の生産能力を強化中だ。中長期の成長を見据え、技術開発と生産体制を両立させた強化が課題だ」

《ジョギングと就寝前の「数独」で気分転換》

（京都・小野太雅）

85年（昭60）東北大院工博士前期課程修了、同年トヨタ自動車入社。17年サンコール執行役員、19年取締役常務執行役員、20年同専務執行役員、22年副社長。静岡県出身、63歳。6月27日就任。

無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社